

# ズームブルー®

ZOOMBLUE®

鏡検のための真菌染色では、水酸化カリウム（KOH）溶液にインク色素を加える方法が、菌要素の有無及び菌の寄生形態の観察をより容易にすることから広く用いられてきました。しかし、インクの改良によりその組成が変わり染色性が低下したことから、これに代わる染色用試薬の開発が望まれるようになりました。

ズームブルーは、水酸化カリウム（KOH）溶液〔軟化剤〕に染色剤を加えることで簡単に操作でき、室温で放置するだけで短時間で菌要素を染色し、鏡検できるように開発された染色用試薬です。

## 〔特 長〕

### 1.操作が簡便〔軟化剤＋染色剤〕

軟化剤である水酸化カリウム（KOH）溶液と染色剤があらかじめ混合されているので、操作が簡便です。

### 2.室温放置で容易に鑑別

室温で放置するだけで菌要素が青～紫色に染色され、鏡検による鑑別に役立ちます。

### 3.短い染色時間

短時間（約30～60分）で鑑別できます。

※加温することで、さらに染色時間を短縮できます。

※染色時間は、試料の状態により異なります。

## 〔使用 法〕

1.試料をスライドガラスの上に置きます。

2.ズームブルー数滴を試料の上に滴下し、カバーガラスを被せずにそのまま室温で約10分間放置します。（試料にズームブルーを馴染ませます。）

3.カバーガラスを被せ、さらに室温で約20～50分間放置します。

放置時間は試料により異なります。

皮膚は約20分、爪は約50分程度が目安になります。

※なお、室温で約20～50分間放置するかわりに、ホットプレート等を用い60～80℃で約5分間加温することで染色時間を短縮することができます。

4.放置（または加温）後、カバーガラスを上から軽く押し、試料を薄く広げます。

5.余分なズームブルーをろ紙等で吸い取ってから、顕微鏡下で観察します。

## 〔染色鑑別法〕

菌要素は青～紫色に染色されます。

染色により菌要素の形態等の観察が容易になります。

●ズームブルーの長期保管により、菌要素が赤味を帯びて染色されることがありますが、鑑別には支障ありません。

## 〔使用上の注意〕

●試料は、できる限り薄く小さく採取してください。試料が大きい場合、中心部分に存在する菌要素の染色性が悪くなります。

●試料にズームブルーを滴下後、すぐにカバーガラスを被せても菌要素は染色されます。しかし、滴下後約10分間、カバーガラスを被せずに室温で放置することで、菌要素の染色性が向上し鑑別が容易になります。

●加温処理を行う場合、カバーガラスの周りに染色剤が析出しますが、染色には支障ありません。

●染色後、乾燥しないよう保管すれば、数日後でも染色像を観察できますが、乾燥すると水酸化カリウム（KOH）や染色剤が析出し鏡検不可となることがありますので、なるべく速やかに観察することをおすすめします。

### 適用上の注意

●強アルカリ性であるので、誤って目に入らないように十分注意してください。

●強アルカリ性であるので、誤って口に入れれないように十分注意してください。

●衣服等についたときは、直ちに本剤が付着した衣類を脱いでください。

●皮膚についたときは、直ちに流水でよく洗ってください。

## 〔保管及び取扱い上の注意〕

●衣服等につくと色が落ちないので、十分注意してください。

●直射日光を避け、なるべく涼しい所にキャップをよくしめて保管してください。

●外箱に記載の使用期限内に使用してください。

※本試薬は、医薬用外劇物（水酸化カリウム含有試薬）に該当しますので、保管及び取扱いには十分注意してください。

製品安全データシートは下記URLの「医療関係者の皆さま」のサイトに掲載しております。  
<https://www.hisamitsu.co.jp/>



## 【文献請求先及び問い合わせ先】

久光製薬株式会社 お客様相談室

〒135-6008 東京都江東区豊洲三丁目3番3号

TEL.0120-381332

FAX.(03)5293-1723

受付時間／9:00－17:50（土日・祝日・会社休日を除く）

発売元



久光製薬株式会社

〒841-0017 鳥栖市田代大官町408番地



NIPRO

製造者

ニプロ株式会社

大阪府摂津市千里丘新町3番26号

水酸化カリウム含有試薬(真菌染色用試薬)

# ズームブルー<sup>®</sup>

## ZOOMBLUE<sup>®</sup>

【組成】水酸化カリウム20w/v%、メタノール15w/v%

**危険**



### 【危険有害性情報】

- ・金属腐食のおそれ
- ・引火性液体及び蒸気
- ・飲み込むと有害
- ・重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- ・発がんのおそれ
- ・生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
- ・呼吸器、視覚器、全身毒性、中枢神経系の障害
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、視覚器、中枢神経系の障害

### 【安全対策】

- ・他の容器に移し替えないこと。
- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- ・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・容器を接地しアースをとること。
- ・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する措置を講ずること。
- ・粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

### 【応急措置】

- ・吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
- ・皮膚に付着した場合：皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
- ・眼に入った場合：直ちに医師に連絡すること。眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合：飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。揮発性液体なので、吐き出させるとかえって肺への吸引などの危険が増す。直ちに医療措置を受ける手配をする。水でよく口の中を洗わせてもよい。被災者に意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。

### 【保管】

- ・耐腐食性内張りのある耐腐食性容器で保管すること。
- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ・施錠して保管すること。

### 【廃棄】

- ・内容物、容器を国際、国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。